

## 令和5年分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和5年分について、輸出額は「映像機器」などが減少したものの、「自動車」、「電気回路等の機器」などが増加したことから、対前年比2.1%の増加となった。また、輸入額は「原油及び粗油」、「液化天然ガス」、「石炭」などが減少したことから、同8.3%の減少となった。  
その結果、差引額は1兆2,313億円（同15.7%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	1兆760億円	+2.1%	2兆3,073億円	▲8.3%	▲1兆2,313億円	▲15.7%
	3年連続の増加		3年ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	1,210億円	+47.5%	輸入	増加品目	(1) 鉄鋼	282億円	+14.0%
		(2) 電気回路等の機器	961億円	+17.0%			(2) 原動機	88億円	+54.0%
		(3) 建設用・鉱山用機械	284億円	+49.2%			(3) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	158億円	+18.1%
	減少品目	(1) 映像機器	109億円	▲83.2%		減少品目	(1) 原油及び粗油	1兆3,000億円	▲5.9%
		(2) プラスチック	548億円	▲17.3%			(2) 液化天然ガス	3,782億円	▲13.6%
		(3) 原動機	206億円	▲28.3%			(3) 石炭	1,044億円	▲20.1%
地域別動向	西欧、北米が増加、アジアは減少			地域別動向	大洋州、中東が減少、アジアは増加				

（参考）ドルレートは、140.17円（前年比7.2%、9.40円の円安）であった。

（注）年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。